

I Love Churui

# I ♥ ちゅうるい

# 2・3

2023 Vol. 547



忠類農協青年部の年末イベントとして、忠類神社参道にアイスク্যান্ডルの製氷・設置を行いました。



大晦日には参拝者へのホットミルクの無料配布も実施しました。



<http://www.ja-churui.com>

## Contents

北部ナミビア 小規模農家生計向上プロジェクト	2
酪農部会 飲食店へ牛乳の提供を実施	3
酪農家応援料理教室の開催	
青年部 広尾線ブロック幹部研修会の開催	4
青年部 学習会の開催	
青年部 創立60周年記念視察の実施	5
令和四年度 和牛新年研修会の開催	6
JAネットワーク十勝の動き	7
JAって何?～今こそ知っておくべき!農業協同組合～ 第六回	8～ 9
ピックアップ農協職員	10～11
第12～14回理事会	
普及所センター技術情報	12
生乳生産状況表	13
令和4営農年度12月末クミカン実績 (JA総計)	14～15





## 北部ナミビア 小規模農家生計向上プロジェクト

令和四年十二月六日（火）

に、JICAが主催する「北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト」として、元忠類の高橋一男さんの牧場にて「忠類和牛牧場の見学会」が行われました。

見学会はJICA職員をはじめ、普及所と農協、ナミビア共和国から来日した男女十一名が参加しました。



和牛の肉を見せる様子

ナミビア共和国は、アフリカ南西部に位置しており、同国内に在る世界最古の砂漠と言われている「ナミブ砂漠」にちなんで国名が付けられました。

日本の約二倍の面積があり、アフリカ大陸の中でも最も人口密度が低い国と言われています。

主食は白トウモロコシの粉を練った団子で、お肉と一緒に食べるのが一般的で、牛はお肉にすることが多く、乳製品はほと

んど摂らない傾向にあります。

今回のプロジェクトは、市場性の高い牛の育成方法や、日本の和牛農家の経営方針を見て、どのように生計を立てているのかを学ぶことを目的としています。

ナミビア共和国の農家にとって牛は、特別な祭事等の食事や、家計へ売却代金を工面するといった資産としての認識で飼育しています。

そのため、牛の販売による収益化が難しく、また月齢が高すぎることから市場性を得られないこと、高齢により牛が売却前に死亡することが問題となっています。

高橋さんは、「市場性を高めるには、その牛の能力値を最大限に出してあげることが大事だが、和牛は本来暑い地域で飼育されていた生き物であり、寒さには弱い。そのため、いかに北海道の寒い気候の中で牛を殺さ

ないかが大切。それには普段から牛をよく見て、獣医などに頼らず、自分で変化に気づけることで病気などを防げる。」と話していました。

見学会の最後に、ナミビア共和国の方々から高橋さんへお礼の言葉をいただきました。

高橋さんは「今まで二十三か国行ったが、今度はナミビアに行って、ナミブ砂漠を見たい。」と国への興味を示されていました。



高橋さんへお礼の言葉



牛乳でウェルカムく飲食店へ牛乳の提供を実施く

J A 忠類酪農部会は、令和四年十二月一日から令和五年一月末までの期間中に、忠類の飲食店や道の駅で、牛乳を「ウェルカムドリンク」として無償提供しました。



「食堂このみ」にて牛乳が振舞われる様子

提供店舗は、「食堂このみ」「とよ雅」「十勝ナウマン温泉ホテルアルコレストラン」「ピストロブラウン」「レストランケルン」「てっばんさん」「Tomonocafe」「忠類道の駅」の計八店舗にて行われました。

ウェルカムドリンクの活動は今年で三度目となっております、沢山の方々からご好評を頂きました。

今年度は、期間中に提供された牛乳（1L）の本数が、合計で約八六〇本と、多くの方にご愛飲いただくことができました。

今年度においても、牛乳の需要情勢は非常に厳しい状況が続いておりますが、今後も、日本の酪農を守るために、牛乳・乳製品の消費拡大にご協力よろしくお願いたします。

酪農家応援料理教室 スキムミルクを食に取り入れよう！

令和五年二月三日（金）（酪農部会研修）、二月二十二日（水）（一般向け）の計二日間、忠類コミュニティセンター調理室にて、酪農部会員や地元消費者・児童を対象に牛乳の消費拡大を目的とした「酪農家応援料理教室」が開催されました。

講師は、酪農部会の井田寿美恵さんが行い、担当職員と相談しながらレシピを考案し、主にスキムミルクを使用した料理をテーマに、ご飯からおかず、デザートにもスキムミルクを使用して調理しました。



講師の井田寿美恵さん

二月三日の料理教室後の食事会では、農協の福田営農部長より、参加者へ昨今の酪農情勢についての話をしました。

講師の井田さんは、「子供でもシニアでも簡単に栄養補給できるスキムミルクをぜひ活用して、日本の酪農家を応援してほしい」とお話ししていました。

三回目は、一般の方や冬休みの小中学生などを対象とした料理教室を三月二十七日（月）に開催予定です。



料理教室のレシピは最後のページに掲載しています。





# 広尾線ブロック青年部幹部研修会

J A 忠類青年部（部長杉坂一樹）は、令和四年十二月二十一日（水）にホテルグランテラス帯広にて広尾線ブロック青年部幹部研修会を開催しました。

本研修会は、南十勝の七単組が毎年順番に当番として運営・幹事をしており、本年は忠類農協青年部が担当となりました。

株式会社そら取締役COOの林佑太氏を講師としてお招きし、講演をいただきました。

杉坂部長の開会挨拶から始まり、来賓挨拶として、十勝地区農協青年部協議会会長の菅原崇氏よりいただきました。

研修会には三十三名が出席し、「地域活性化への施策」と



開会挨拶をする杉坂部長



講師の林氏

題し、株式会社そらが設立に至った経緯とこれまでの事業実績や、今後の十勝で行っていく取組について資料を交えて講演いただきました。

現在、十勝管内で注目をされている企業のお話ということもあり、質疑応答の際には各単組から多くの質問が飛び交いました。

数々の質問に対し、共通してお答えしていた内容として、十勝管外出身者の視点から、十勝には食や自然・観光業といった他の地域にも負けない素材の強さがあるということ述べられていました。

各単組の今後の青年部活動だけでなく日々の営農の糧となった研修会になったのではないかと感じられました。



質問をする渡邊副部長



# 青年部学習会の開催

J A 忠類青年部（部長杉坂一樹）は、令和五年二月十日（金）に農協二階研修室にて第三回学習会を開催いたしました。

講師として、株式会社東京商工リサーチ帯広支店課長の藤本氏をお招きし「十勝の企業実績から学ぶ会社経営・優良経営の実態」と題し講演いただきました。

企業調査を実施した十勝管内の企業実績をモデルケースとして、スライドだけでなくグループワークも行われました。

当日は八名の部員が出席し、自身のこれからの経営を見つめる機会となったのではないかと思います。







JA忠類青年部活動報告創立六十周年記念視察

JA忠類青年部（部長杉坂一樹）は、令和五年一月二十三日から三泊四日の日程で福岡県の青年部創立六十周年記念視察を実施しました。

視察内容としてはJA系島直売所「伊都菜彩」を店内見学、有限会社グリーングリーン代表との意見交換、太宰府天満宮へ行きまし

た。伊都菜彩は、平成十九年四月にオープンし、JAの直売所で販売高は日本一となっております。



店舗前にて記念撮影

売り場には豊富に商品が陳列されており、農作物のだけでなく、花卉類や鮮魚、総菜や地域限定品などが販売されていました。

店内の一角には商品を発送手続きができる場所があり、地域内外の消費者への対応を可能としておりました。

部員たちは、販売物や商品の状態など、道内のスーパーや直売所との違いを体感しつつ、買い物をしておりまし

た。有限会社グリーングリーンは福岡市を本社に事業用の水耕栽培のコンサルティングや家庭用水耕栽培



上杉代表と意見交換



講師の上杉代表（中央より左）と記念撮影

培の製品の販売事業などを行っている会社です。

視察は、部員たちと意見交換という形式で代表取締役の上杉仁氏と福岡市内の会議室にて実施しました。

会社設立に至った経緯や事業概要の説明だけでなく、部員たちから北海道の農作物の販売事情や生育する上での土壌の性質などの話をしました。

『固定概念を取り払う』をモットーに事業展開を続ける上杉代表は専門外の話題に対しても、独自の視点からアプローチに対して、部員たちも時間の許す限り意見交換を行ってりました。

また、福岡市内で生産から販売までを行っている店舗「GGサプライ」も展開しており、意見交換後に立ち寄った部員は新鮮な葉物野菜やサラダなどを購入してりました。

太宰府天満宮へは、視察日程の最終日に行きました。

学問の神である菅原道真を御祭神としている神社であり、視察当日は受験を控えた修学旅行の学生の団体が多くありました。

部員たちは、各々で散策や参拝をして回り、「商業繁盛」や「開運」だけでなく、「無病息災」、「交通安全」などを祈願したお守りを入手してりました。



本殿前にて記念撮影





## 令和四年度和牛新年研修会開催

令和五年一月二十六日（木）に、忠類和牛改良組合（蛭原一組合長）は、和牛新年研修会を開催しました。

講師に、十勝農業改良普及センター本所 主査の塩氏と、同センター十勝南部支所 地域係長の井堀氏をお招きし、去勢時期や麻酔の大切さ、分娩前の増し飼いや子牛の管理、農場でのほ乳・育成牛の飼育アイデア例について講義いただきました。



新年研修会の様子



資料の説明を行う塩氏

低く、子牛の死亡も多い傾向であることから、塩氏より「カーフウォーマーがない方は、家庭用の布団乾燥機で一時的な代用が可能。使う際に不慣れた部分があるが、子牛をなるべく温めることができる環境を作っていました。」と呼びかけていました。

研修会中、和牛改良組合の方から講師の方へ、積極的に質問等を行うシーンがあり、とても活気にあふれた新年研修会になったと思います。研修会後は、交流会が開催され、今後の素牛生産に向け、会員間の意見交換も交えながら、終始和やかな雰囲気での交流会を終えました。

## おいしく食べて美しく

### 春の体調不良の予防と対策

栄養士 ● 吉田理江



春は穏やかで過ごしやすいため、一方、だるさ、不眠、頭痛、疲労感などの不調を感じることも多い季節です。その原因の一つとして、気温の寒暖差、環境の変化による自律神経の乱れがあります。これは、日中活動しているときに優位に働く交感神経と、心身がリラックスしているときに優位に働く副交感神経のバランスが乱れることにより引き起こされます。今回は、自律神経を整える効果が期待できる食事方法とお勧めの栄養素について、三つのポイントをお伝えします。

#### 【1】よくかんで食べましょう

よくかんで食事することで副交感神経が活発に働き、消化を促すだけでなく、体がリラックスモードになります。よくかまないで食事をするのが習慣になってしまっている方は、一口で入れる量を少なくしたり、食感のあるものを取り入れたりと試してみると良いでしょう。



【2】3食食べましょう  
欠食をすると交感神経が優位に働いたままになり自律神経が乱れる原因に。3食食べることで自律神経が整いやすくなります。

#### 【3】お薦めの栄養素

春の体調不良に負けない体をつくるためにお薦めの栄養素は、タンパク質、ビタミンB群、ビタミンCです。

肉、魚、卵、乳製品、大豆製品などのタンパク質に含まれる「トリプトファン」は、精神を安定させる働きがある神経伝達物質「セロトニン」の原料となります。

豚肉、バナナなどに含まれるビタミンB群は、ストレスから体を守るホルモンの合成に必要な栄養素です。朝、忙しいときはバナナだけでも食べるようにしましょう。

野菜や果物に含まれるビタミンCは、ストレスへの抵抗力を高める働きがあります。余剰分は尿と一緒に排出されるため、毎食摂取するのが好ましいです。

今回ご紹介した三つのポイントを取り入れつつ、睡眠などの生活習慣も見直して春の体調不良に負けない体づくりをしたいですね。



# JAネットワーク十勝の動き

令和4年12月  
JAネットワーク十勝

JAネットワーク十勝は、十勝地区農協組合長会議や十勝農協組織検討委員会等における協議を踏まえて8月に規約を変更し、事業目的および役員・事務局体制について次のとおり改めました。

- ①**総則**：「JAネットワーク十勝は、十勝地区農協組合長会が所管する諸課題の解決に向けて、十勝地区のJAグループが連携して特定の事業を行うための協議体であり、本部を十勝地区農協組合長会に置く。」と改めました。
- ②**ネットワーク事業**：新たに「会員の事業・施設に係る協同化の推進」と「十勝農業の将来ビジョンの設定と推進」を追加しました。
- ③**組織**：最高決議機関を「十勝地区農協組合長会議」と決めました。
- ④**役員**：本部長は十勝地区農協組合長会会長、副本部長は十勝農協連会長、理事は両組織の副会長、監事は農協組合長会監事と決めました。
- ⑤**事務局**：十勝農協連からJA北海道中央会帯広支所に移りました。なお、十勝ごちそう共和国ブランド事業等については、引き続き十勝農協連に運営事務を委託します。

以下、ネットワーク事業の取組状況についてご報告致します。

## 1. 生産・販売の強化について

- 2021年の管内農協取扱高は史上最高の3,735億円(概算)となり、十勝農業ビジョン2021の農業生産額目標3,500億円を大幅に上回りました。
- 十勝農業の5年後の目指すべき姿とそこに至る課題をまとめた十勝農業ビジョン2026を、十勝農協連と共同で策定しました。2026年の農業生産額の目標は4,100億円です。
- 十勝ごちそう共和国ブランド事業は、3年ぶりに実開催となった十勝マルシェに10JAが参加したほか、管内ラジオ番組における広告宣伝やホームページからの商品情報の発信等を行っています。また、十勝観光連盟と共同で制作したBGV(20分のPR動画)を関係各所に配布しました。

## 2. JA経営の強化について

- JAの職員採用に関する支援事業は、専用ホームページによる管内JA職員採用情報の提供を行っているほか、今後はJA事業を支える優秀な人材の確保と流失防止に向けて「時代に即した魅力ある職場づくり」に取り組んで参ります。





JAって何？

「JA」を知っておくべき！農業協同組合 第六回

⑨ JAの販売事業① 「委託販売」と「買取販売」

最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとってかわりの深いJAの販売事業について考えてみましょう。

JAの販売事業は、組合員がJAに自ら生産した農産物の販売を委託する「委託販売」の形が主力になっています。JAは委託された農産物を販売し、手数料を差し引いた代金を組合員に渡します。委託販売は同じ種類の農産物をJAの地域全体か

ら集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上のため、農産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進めることができます。こう

して全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階にながっていくと全農という形になり、次第に販売力は強化されていくのです。

こうした委託販売は米や生乳など全道規模で大量に取り扱う農産物に向いていますが、販売価格の確定までに時間がかか

り、年度をまたぐこともあるといったデメリットがあります。このため、組合員からは農産物を出荷した時点で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取

販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農産物の買取にはその時々価格差とといったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しいのが現実です。農産物の特性を考慮しつ

販売事業



委託販売と買取販売を組み合わせたながら有利な販売を展開していく、これがJAの販売事業のあるべき姿ではないでしょうか。



⑩ J A の販売事業② 「一元集荷多元販売」

J A は組合員が委託した農産物をどのように販売しているのでしょうか？今回は協同組合最大の特徴ともいえる「一元集荷多元販売」について生乳を例にとってみてみることにしましょう。

生乳には、飲用乳向けや「生クリーム・バター・脱脂粉乳・チーズ」といった乳製品向けなどさまざまな用途があり、販売価格については各用途で異なり、それぞれの市場情勢を踏まえた価格設定となっています。中でも飲用向けが最も高い価格となっていますが、酪農家がこぞって飲用向けのみに出荷した場合、市場に対して供給過剰となり価格低下を招くことにな

ります。また、価格が低いといった理由で、乳製品向けの販売を抑え過ぎると、輸入品が増加し、国産生乳の需要を喪失することにもつながります。

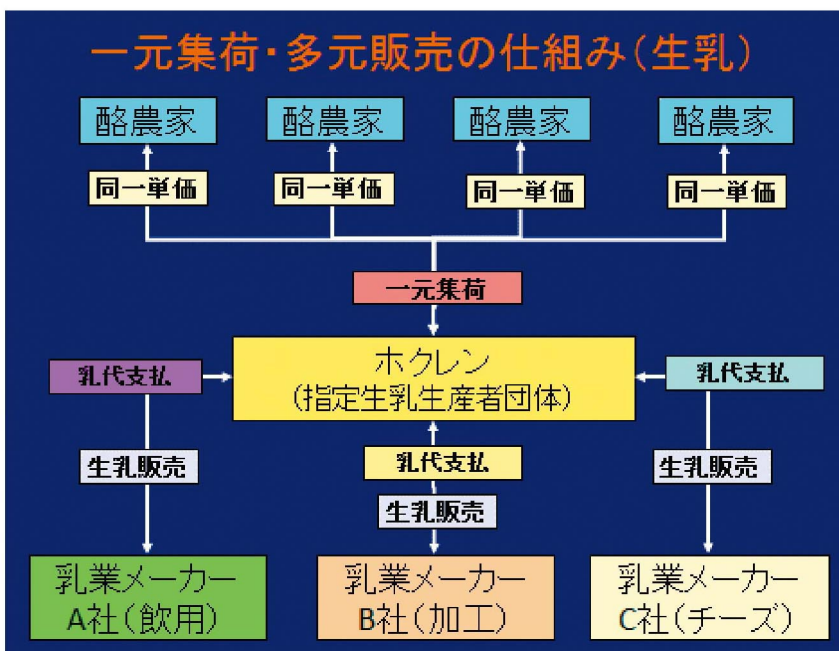
このため、国の制度として「指定生乳生産者団体」が設置され、北海道ではホクレンが指定を受けており、一元集荷多元販売による「生乳の用途別取引と需給調整」および「公平な乳代配分」を行っています。

具体的には、指定団体であるホクレンが全道の酪農生産者から集荷した生乳を一元管理し、J A 等の生産者団体を代表して乳価交渉を行い、全ての乳業者と全ての用途においてバランスを考えながら販売しています。

また、代金については集荷した生乳の成分量で割り返した単価により乳代を支払っています。このことにより、北海道内の何処で営農しても、平等な乳代精算が行われることとなります。これが「プール乳価」と呼ばれるものです。

実施が制限されています。もし、全農・ホクレンの株式会社化や指定生乳生産者団体制度の廃止が現実になったとしたら生産者への影響は多大なものになるでしょう。

こうした組織の結集力によって農産物の有利販売と需給の均衡を同時に実現するのが「一元集荷多元販売」の仕組みですが、実はこの方式は協同組合にしか実施が認められておらず、株式会社では独占禁止法により







※撮影のため一時的にマスクを外しております

# ピックアップ 農協職員

## PICK UP!

### 【名前】

青山俊太（あおやましゅんた）

### 【所属部署・担当】

経済部 燃料整備課 燃料担当

### 【入組年】

令和元年十二月

### 【趣味・特技】

サッカー・麻雀・競馬

### 【近況】

なかなか競馬で一発当てることができません。G1レースが待ち遠しいです。

### 【これからの夢や目標】

結婚したいです。誰かアドバイスをお願いします。

### 【皆様へ一言】

前年度は大変お世話になりました。今年度も何卒よろしくお願いたします。



## 第十二回 理事会

開催日 令和四年十二月二十八日

### 付議事項

- 議案第一号 組合員資格審査委員会の設置について
- 議案第二号 役員報酬審議会の設置について
- 議案第三号 出資金の譲渡承認について
- 議案第四号 理事に対する資金貸付について
- 議案第五号 組合員勘定「年末残高精算」に伴う長期資金等借入希望取扱い承認について
- 議案第六号 取引のリスク評価書の一部改正について
- 議案第七号 令和四肥料年度肥料取扱要領の変更について
- 議案第八号 生乳生産抑制支援金支払要領の設定について

### 報告事項

- 一、令和五年度用途別原料乳価格の改定について
- 二、農作物・生乳生産状況および組合員勘定集計結果について
- 三、コントラクター事業・直売所事業の経過報告について
- 四、営農懇談会意見集約について
- 五、令和三年産農作物共同計算の最終精算報告について
- 六、第3四半期余剰金の運用状況について
- 七、理事と組合の間における「利益相反取引」に伴う結果報告について
- 八、組合員異動報告について
- 九、内部監査結果について
- 十、監査代替的調査に係る監査結果について
- 十一、第3四半期監事監査結果について



## 第十三回 理事会

開催日 令和五年一月二十五日

### 付議事項

- 議案第一号 定年退職者再雇用規程の一部改正について
- 議案第二号 企業年金規約の一部改正について
- 議案第三号 出資金の譲渡承認について
- 議案第四号 出資金の減口承認について
- 議案第五号 農地保有合理化事業実施に伴う確約書の締結について
- 議案第六号 特定組合員に対する組合員勘定貸越極度額並びに組合員勘定資金供給限度額の承認について（役員面談報告含）
- 議案第七号 サルモネラ症損害補填規程に基づく損害補填について

### 報告事項

- 一、農作物・生乳生産状況および組合員勘定集計について
- 二、組合員勘定清算実績について
- 三、定款第五一条九項に規定する信用供与等債務者の経営状況について
- 四、離農休農者の債務返済状況等について
- 五、JAOC十勝（広尾線）の運賃改定について
- 六、農事組合長の決定について
- 七、組合員異動報告について
- 八、コンプライアンス事故報告について
- 九、内部監査結果について



## 第十四回 理事会

開催日 令和五年二月十日

### 付議事項

- 議案第一号 内部監査計画書の策定について
- 議案第二号 経営定期点検実施計画書の策定について
- 議案第三号 出資金の減口承認について
- 議案第四号 信用限度額超過等の組合員に対する組合員勘定貸越限度額
- 議案第五号 理事に対する組合員勘定勘定貸越限度額並びに組合員勘定資金供給限度額の承認について
- 議案第六号 特定組合員の選定について
- 議案第七号 期末手当の支給について

### 協議事項

- 一、農業委員会委員候補者の団体推薦について
- 二、生乳生産状況について
- 三、営農計画書総合集計結果について
- 四、新規投資集計結果について
- 五、組合員資格審査委員会の答申について
- 六、役員報酬審議会の答申について
- 七、組合員異動報告について
- 八、内部監査結果について
- 九、決算見通しについて







# 秋まき小麦越冬後の施肥管理

十勝農業改良普及センター十勝南部支所

秋まき小麦において、越冬後の施肥管理は安定生産につながる大切な作業です。今回は、十勝の基幹品種である「きたほなみ」の特徴から、越冬後における施肥管理のポイントについて取り上げます。

## 1 起生期の茎数を計測し、追肥量の調整を!

「きたほなみ」は、分けつが旺盛であり、主に起生期の追肥で促進されます。

起生期から幼穂形成期にかけての追肥量は収量水準および土壌中の硝酸態窒素によって変わりますが、起生期に2〜4kg/10a、幼穂形成期に2〜4kg/10aの窒素養分量をそれぞれ施用することが基本です。

しかし、追肥量が多く、茎数が増えすぎてしまうと、出穂期以降の穂数も増え、過度の増加により穂1本1本に届く養分が少なくなり、「細麦」「倒伏」を招く要因となります。

起生期の茎数がmあたり1,000本以上ある場合、起生期は無施肥とし、幼穂形成期に追肥することで、茎数の増加を抑える必要があります。

写真1に起生期茎数の計測方法を示します。

## 2 幼穂形成期以降の追肥で止葉を立たせ光合成量アップ!

「きたほなみ」は、下位葉でも光合成能力が高く、登熟後半までその能力を高く維持できます。そのため、図1のように止葉を立たせ、下位葉にも日光が当たるような草姿を作り、光合成量を増加させることで、子実の充実を図ることができま。

止葉の長さは、起生期から幼穂形成期の栄養状態に左右されるため、起生期に過度な追肥を行うと、栄養生長がさらに旺盛になり、止葉が長く垂れやすくなりま

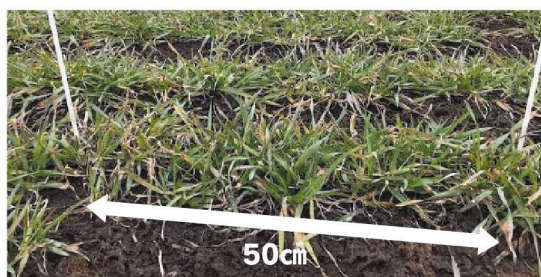


写真1 起生期茎数の計測方法

- ① 畝間を測り、1m÷畝間(m)で1mあたりの倍率を算出(畝間12.5cm→8倍、30cm→3.3倍)
- ② 50cm間の茎数を2ヶ所計測し、合計する。
- ③ (②の計測値×①で算出した倍率)でmあたりに換算(例:(62本+63本)×8=1000本/m)。

す。その結果、下位葉への日光を遮断してしまう要因となります。葉の分化がほぼ終わる幼穂形成期以降に追肥を行うことで葉身の伸びすぎを防ぎ、丈夫で立った止葉を育て、光合成量アップを図りましよう。

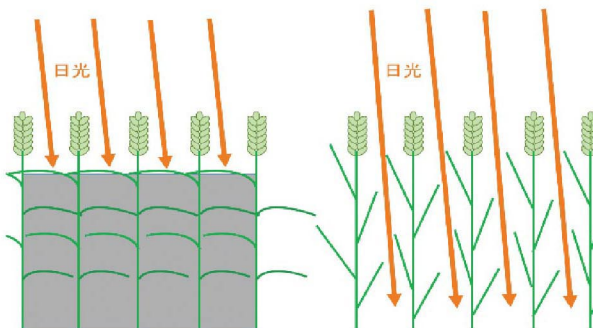


図1 止葉の草姿による下位葉への日射量の違い



写真2 上位茎(左)と下位茎(右)

上位茎とは、地際から葉耳までの高さが10cmを越えた茎のこと。引用:米麦改良協会「北海道の小麦づくり」

## 3 止葉期以降の追肥

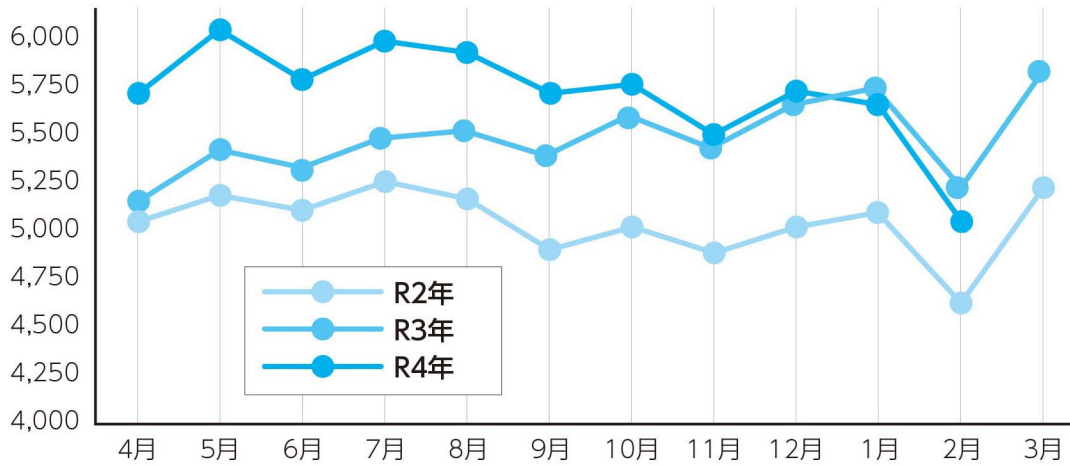
基本的に、止葉期以降の追肥量は、止葉期4kg/10a、開花期3kg/10a、合計7kg/10aの窒素養分量施用が上限となりますが、止葉期の葉色値が高い場合や、上位茎数(写真2を参照)が多い場合は追肥量を減じる必要があります。(葉色値の計測や施肥量についてのご相談は、普及センターまでお問い合わせください。)

また、止葉期以降の追肥は、子実の充実や品質の向上が目的です。そのため、穂数の調節は、起生期から幼穂形成期までが最も重要となります。

近年は肥料価格の上昇などにより、施肥量を見直される方が多いと思います。今年の起生期、止葉期には一度ほ場に出向いて茎数を数えてみてはいかがでしょうか。



# 生乳生産状況表



## ホクレン十勝家畜市場だより



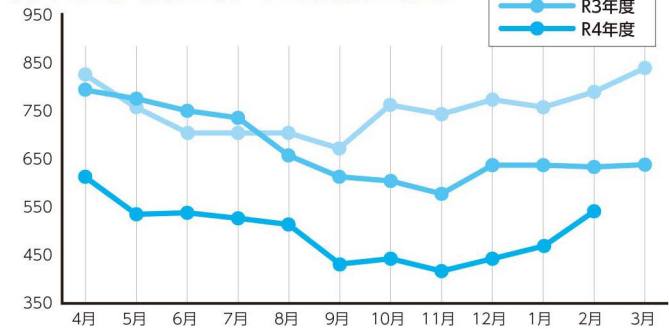
### 乳牛

- 売買頭数：955頭 (成立92.0%)
- 平均価格 (税込)：544千円 (先月比↑77, 前年比↓87)

#### 相場予想

先月の平均価格は、春産みの出回りが本格化する中、特に下旬の市場において道内外からの引き合いがより強まり、強含みで推移した。今月について、出回り頭数は引き続き前年を上回る見込みとなるものの、通常の更新需要に加え、春産み需要がさらに伸びることも予測されるため、強含みで推移されることが予測される。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



### 黒毛和種・F1

#### 結果速報

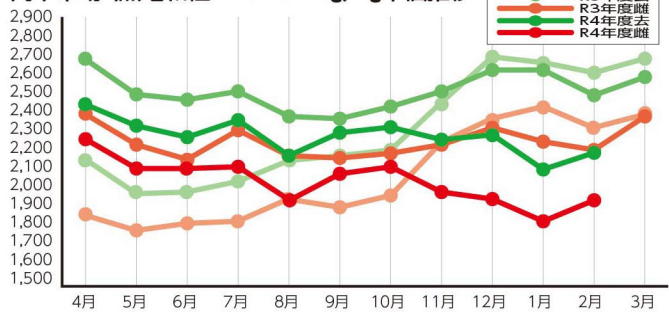
##### ● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 1,230頭 (成立91.4%)
- 乳用交雑種去勢 1,330頭 (成立95.3%)
- 黒毛和種雌 808頭 (成立90.8%)
- 乳用交雑種雌 1,311頭 (成立93.0%)

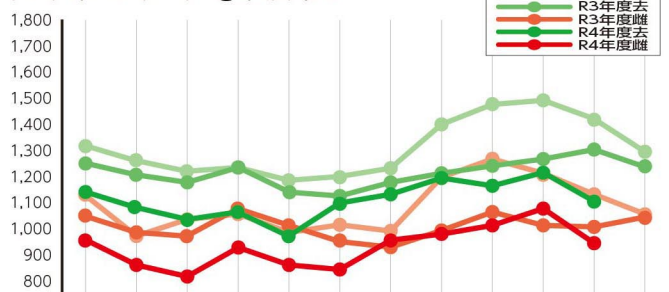
##### ● kg単価

- 黒毛和種去勢 2,186円 (先月比 ↑ 105)
- 乳用交雑種去勢 1,112円 (先月比 ↓ 103)
- 黒毛和種雌 1,920円 (先月比 ↓ 116)
- 乳用交雑種雌 942円 (先月比 ↓ 136)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移







支出		令和4営農年度実績			令和3～4年度差額			(単位：千円)
項目	年別	R4実績	R3実績	前年比	前年差額	R4計画	進捗	(差異要因)
50	労賃	897,776	893,127	100%	(+4,648)	915,597	98%	
51	肥料費	299,766	297,250	100%	(+2,516)	299,770	100%	
52	種苗費	93,205	95,386	97%	(△2,180)	94,341	99%	
53	農薬費	72,358	70,508	102%	(+1,850)	70,106	103%	
54	飼料費	5,917,708	4,703,409	125%	(+1,214,299)	5,215,318	113%	*飼料価格と規模拡大
	△TMRC	(3,966,573)	(3,386,137)	(117%)	(+580,435)	-	-	*飼料価格高騰
55	養畜費	975,780	833,980	117%	(+141,800)	849,111	115%	*飼養頭数の増
56	素畜費	11,090	17,465	63%	(△6,375)	12,400	89%	
57	生産資材費	138,459	144,068	96%	(△5,609)	135,840	102%	
58	農業共済掛金	207,960	206,245	100%	(+1,715)	213,351	97%	*飼養頭数の増
59	賃料料金	1,529,220	1,468,116	104%	(+61,104)	1,523,155	100%	*出荷乳量の増
61	修理費	354,385	341,185	103%	(+13,200)	288,202	123%	
62	水道光熱費	293,041	249,863	117%	(+43,178)	270,008	109%	*光熱費の高騰
63	営農車両費	309,924	304,464	101%	(+5,460)	310,376	100%	
64	支払利息	64,731	68,228	94%	(△3,496)	65,981	98%	
65	租税公課	140,866	198,599	70%	(△57,733)	154,691	91%	
66	諸負担金	80,041	78,209	102%	(+1,832)	81,556	98%	
67	その他経営費	253,530	213,178	118%	(+40,352)	206,267	123%	
	<b>農業支出</b>	<b>11,639,840</b>	<b>10,183,280</b>	<b>114%</b>	<b>(+1,456,560)</b>	<b>10,706,070</b>	<b>109%</b>	
	△TMRC農業支出	(9,082,695)	(8,310,728)	(109%)	(+771,968)	-	-	
70	農外支出	0	45	0%	(△45)	0	-	
71	家計費	203,404	203,471	99%	(△67)	197,414	103%	
80	貯金共済掛金	369,393	349,605	105%	(+19,788)	330,866	112%	
81	借入金返済	890,964	1,113,738	79%	(△222,774)	855,160	104%	
82	資産取得	175,715	347,215	50%	(△171,500)	174,005	101%	
83	その他資産	0	3,946	0%	(△3,946)	0	-	
	<b>支出計</b>	<b>13,279,316</b>	<b>12,201,300</b>	<b>109%</b>	<b>(+1,078,016)</b>	<b>12,263,515</b>	<b>108%</b>	
	△TMRC農業支出	(10,633,663)	(10,170,257)	(105%)	(+463,406)	-	-	

預り件数	73件	75件	97%	(△2件)	配合飼料価格の高騰や個体販売価格の急落等、経営環境の激変により酪農経営を中心に収支の悪化が顕著。
預り額	396,615	286,530	138%	(+110,086)	収支を補う新規借入は793,000千円と前年より559,000千円程増加、これを考慮した差引は△448,914千円と大幅に悪化した。
貸越件数	0件	0件	#DIV/0!	(+0件)	翌年も厳しい経営環境が想定されることから、精度の高い営農計画の実践とこれに基づく適正なクミカン運用について宜しくお願いいたします。
貸越額	0	0	#DIV/0!	(+0)	
差引	+396,615	+286,530		(+110,086)	



# 令和4営農年度 クミカン実績【JA全体】

令和4年1月1日～令和4年12月31日

収入		令和4営農年度実績			令和3～4年度差額			(単位：千円)
項目	年別	R4実績	R3実績	前年比	前年差額	R4計画	進捗	(差異要因)
01	麦	23,042	31,964	72%	(△8,922)	16,600	139%	*反収減
02	豆類・雑穀	39,452	32,030	123%	(+7,422)	50,146	79%	*単価上昇
03	馬鈴薯	79,068	86,415	91%	(△7,347)	69,539	114%	*反収減
04	てん菜	58,081	44,418	130%	(+13,663)	47,080	123%	*作付面積の増
05	青果・そ菜	194,538	235,574	82%	(△41,036)	234,771	83%	*人参精算方式
06	その他農産物	71,123	80,010	88%	(△8,887)	73,247	97%	*原料草精算時期
07	過年度産農産物	150,362	141,231	106%	(+9,131)	152,650	99%	
<b>農産収入</b>		<b>615,666</b>	<b>651,642</b>	<b>94%</b>	<b>(△35,976)</b>	<b>644,033</b>	<b>96%</b>	
10	生乳	6,977,570	6,386,339	109%	(+591,231)	6,982,436	100%	*出荷乳量の増
11	乳用牛	490,410	693,381	70%	(△202,971)	636,525	77%	*市場価格の急落
12	肉用牛	172,367	207,960	82%	(△35,592)	203,500	85%	
13	TMR受入飼料	2,484,057	1,886,757	131%	(+597,300)	2,200,000	113%	*飼料価格高騰
14	鶏・卵	0	0	0%	(+0)	0	-	*飼養頭数増
15	その他畜産	988	527	187%	(+461)	50	1975%	
<b>畜産収入</b>		<b>10,125,392</b>	<b>9,174,965</b>	<b>110%</b>	<b>(+950,427)</b>	<b>10,022,511</b>	<b>101%</b>	
△TMR受入飼料		(7,641,334)	(7,288,207)	(105%)	(+353,127)	(7,822,511)	(98%)	
20	受入共済金	297,102	302,403	98%	(△5,301)	248,000	120%	
21	受入補助金奨励金	444,233	395,312	112%	(+48,920)	255,274	174%	*補填金(配合)他
22	受入賃貸料	93,082	81,282	114%	(+11,800)	80,038	116%	
23	農業雑収入	315,888	270,420	116%	(+45,467)	152,962	207%	*補填金(生乳)
<b>農業収入</b>		<b>11,891,362</b>	<b>10,876,025</b>	<b>109%</b>	<b>(+1,015,337)</b>	<b>11,402,818</b>	<b>104%</b>	
△TMR受入飼料		(9,407,305)	(8,989,268)	(105%)	(+418,037)	(9,202,818)	(102%)	
30	農外収入	2,602	69	3790%	(+2,534)	1,000	260%	
40	資金借入	910,957	545,068	167%	(+365,889)	234,120	389%	*SN等資金実行
41	資金受入	843,055	1,040,925	80%	(△197,869)	561,010	150%	
42	その他負債・資本	27,955	25,743	108%	(+2,211)	14,480	193%	
<b>収入計</b>		<b>13,675,932</b>	<b>12,487,830</b>	<b>110%</b>	<b>(+1,188,102)</b>	<b>12,213,428</b>	<b>112%</b>	
△TMR受入飼料		(11,191,874)	(10,601,072)	(106%)	(+590,802)	(10,013,428)	(112%)	
<b>生乳生産量</b>		<b>68,722t</b>	<b>63,055t</b>	<b>109%</b>	<b>(+5,666t)</b>	<b>69,290t</b>	<b>99%</b>	*規模拡大
(組勘取引)		(66,975t)	(61,673t)	(109%)	(+5,302t)	(67,738t)	(99%)	*飼養頭数の増
<b>乳代単価</b>		<b>104.2円</b>	<b>103.6円</b>	<b>101%</b>	<b>0.6円</b>	<b>103.1円</b>	<b>101%</b>	
(控除後)		95.1円	94.7円	(100%)	0.4円			



# もっちりミルク白玉だんご

黒みつきなこver. ~



## 材料

- ・白玉粉 130~150g
- ・スキムミルク 大2杯
- ・糸絹とうふ 100g~150g
- ・オリゴ糖 小1~2杯 (白砂糖可)

アレンジがきく  
ミルク風味の  
白玉です!

1 白玉粉にスキムミルクを入れて、泡立て器で混ぜる。



2 ①に糸絹とうふを少しずつ加えて耳たぶ位のかたさにする。



3 オリゴ糖を入れ、少し白玉粉を加え、ひとかたまりになる様こねる。



4 ひとくちサイズになる様まじめる。



5 お湯を沸かして、③を入れる。氷水を用意する。



6 下に沈んでいた白玉だんごが浮かんできたら1分位待ち、氷水にすくい取る。



7 冷えたら、ざるに取り、水気を切る。黒みつきなこをかける。



スキムミルクが入っているので、やさしい味に!  
白砂糖を多めにすると、白玉だけで、うんと食べられます! アレンジしてももちろんOK!!

~ アレンジレシピ ~

フルーツのせとあんこのせ!!



あんみつ風  
~ ミルク白玉 ~



絵: 友西このみ